

カリキュラムマップ 看護学科

		1年次	2年次	3年次	4年次	DP
専門分野	統合科目			(保健師課程選択者の履修科目) 地区活動論 I 地区活動論 II 対象別保健指導論 I 対象別保健指導論 II	対象別保健指導論 III 対象別保健指導論 IV 継続訪問実習 公衆衛生看護学実習	<p>主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己を研鑽する力を身につけている。</p> <p>異文化を理解するとともに多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動できる力を身につけている。</p> <p>地域社会の保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、住民おおび関係職種の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p>対象となる人々の生活の質(QOL)を考慮して、主体的、自律的に看護を实践できる力を身につけている。</p> <p>科学的根拠に基づいた看護の実践的判断ができる力を身につけている。</p> <p>人間の基本的権利を尊重し、人間を全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p>
	臨地実習	基礎看護学実習 I	基礎看護学実習 II	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習	小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	
	精神看護学		精神看護学概論	精神看護活動論 I 精神看護活動論 II		
	母性看護学		母性看護学概論	母性看護活動論 I 母性看護活動論 II		
	小児看護学		小児看護学概論 小児看護活動論 I	小児看護活動論 II		
	老年看護学		老年看護学概論 老年看護活動論 I	老年看護活動論 II		
	成人看護学	成人看護学概論	成人看護活動論 I	成人看護活動論 II		
	基礎看護学	看護学概論 看護技術論 看護共通技術 I 看護共通技術 II 基礎看護技術 I 基礎看護技術 II ヘルスアセスメント	基礎看護技術 III 基礎看護技術 IV			
専門基礎分野	身体のしくみ	人体形態学 人体機能学 生化学 栄養学	病理学 臨床治療学 I 臨床治療学 II 臨床治療学 III 感染微生物学 薬理学	臨床薬理学		
	人間と健康	生涯発達論 家族社会学	人間工学 カウンセリング・コミュニケーション論			
	人間の健康と社会生活	社会福祉概論 地域との協働 I 公衆衛生学 人間関係論 福祉環境論	地域との協働 II 疫学 人権と法	保健福祉連携論 地域との協働 III 保健医療福祉行政論 総合リハビリテーション論 医療福祉論		
連携教育	地域との協働 I	地域との協働 II	地域との協働 III 保健福祉連携論			
教養教育	1. 言語・情報・スポーツ……「言語・リテラシー」「情報統計」「スポーツ」 2. 人と社会・自然の理解……「人と文化・思想」「人と社会・制度」「人と自然・環境」 3. 地域の理解 ※ 教養教育のカリキュラムは「言語・情報・スポーツ」「人と社会・自然の理解」「地域の理解」の3つの区分された科目群で構成 ※ 教養教育科目はすべての学年に配当されています。また開講年次以降の学年であっても履修することができます。					

DP=ディプロマポリシー
(看護学科)

- 人間の基本的権利を尊重し、人間を全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。
- 科学的根拠に基づいた看護の実践的判断ができる力を身につけている。
- 対象となる人々の生活の質(QOL)を考慮して、主体的、自律的に看護を实践できる力を身につけている。
- 地域社会の保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、住民おおび関係職種の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。
- 主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己を研鑽する力を身につけている。
- 異文化を理解するとともに多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動できる力を身につけている。